



ウトナイ中学校だより

ハシカブ



校訓：文武両道

学校教育目標：創造 自律 挑戦

令和8年10月1日（木）

第5号

挑戦（目標を立てて行動する）

～昨日の自分より一步前進～

苫小牧市立ウトナイ中学校長 山 岸 弘 昇

2学期が始まり1か月が経過しました。先月の始業式の折、私からは、2学期の生活をより充実したものにするため、意識してほしいこととして、教育目標の一つである**挑戦**を挙げました。具体的には、生徒自身が何でもよいので**目標**を1つ定め、達成のために**行動**するということです。行事や部活動で最高の成果を出すことや、苦手な教科を克服すること、毎朝元気に挨拶をすることなど、**些細なことでもかまわない**ということも伝えております。他の誰かと比べるのではなく、「**昨日の自分より一步前進する**」という気持ちをもって臨むよう激励しています。2学期も**学校生活の主役**として、お互いの違い（個性）を認め合い、支え合いながら、共に成長することを期待しています。

避難訓練

～当事者意識、臨場感、緊張感をもって取り組む～

9月4日（金）に今年度2回目の避難訓練を実施しました。

地震および津波を想定したもので、今年度も訓練に際して、北海道が主催している「**北海道シェイクアウト**」への参加登録をしています。



DROP!



COVER!



HOLD ON!

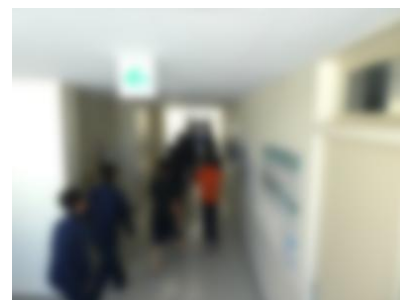
訓練の前半、地震が発生した時にすべき基本行動として、「**まず低く、頭を守り、動かない**」を徹底し、地震の揺れに対して身の安全を確保する訓練を行いました（写真①）。一定時間その場で待機した後、次に行うべき行動として、大津波警報が発表されたとの想定で、津波から逃れるため3階に**垂直避難**する



写真①：シェイクアウト



写真②：垂直避難



写真③：3階での待機

訓練を実施しました（写真②③）。ちなみに本校は、[苫小牧市 Web 防災マップ](#)によると、本校では津波による浸水はないとされていますが、浸水が予想される他の地域から多くの避難者がやってくることを想定し、3階の西側教室に可能な限り集めています。火災を想定した5月の避難では、生徒の避難行動に課題（私語あり、緊張感の不足）が見られたことから、やり直しをかけて避難行動を二度行いました。そうした前回の反省から、今回の訓練では事前に訓練の目的を周知、徹底して臨ませまし

た。すると今回は、私が見ている限りでは、400人を超える生徒が無言、無音で避難行動に取り組んでいました。「やればできるじゃないか!」と内心ほっとしたものです。十分に褒めるに値する緊張感ある訓練だったと思います。訓練後に生徒たちには、日ごろから災害についての理解を深め、命を守る行動ができるよう、次の3点についてお話ししています。本校が避難所となった際の対応についても触れましたので、保護者の皆様もご確認ください。



↑苫小牧市 Web 防災マップ

【訓練後に生徒に伝えたこと（保護者の皆様もご一読ください）】

- ① **大津波警報**や**津波警報**が苦小牧市を含む**太平洋沿岸西部**に発表されたときは、生徒玄関の一番左の扉のロックが自動的に解除されます。被災直後は教職員や市役所職員が到着していないかもしれませんが鍵は開いていますので、避難が必要と判断した場合は校内に入って結構です。職員の到着後は、指示に従って避難所運営にご協力ください。
- ② 苦小牧市が**震度5強以上**の地震に襲われたときは、学校の建物の安全（施設設備等の損傷がなく、使用可能であること）が確認でき次第、避難所として使うことになっています。
- ③ 日ごろから、**物の準備**だけでなく、**心の準備**もしておくことです。災害はいつでもどこでも起こり得ること、自分の命は自分で守ること（**自助**）、場合によっては他者と協力すること（**共助**）、家族と避難場所や連絡方法について確認しておくことです。1次避難の際は、食料は各自でご用意ください（目安として3日分程度）。学校の備蓄品だけでは賄いきれません。



【津波エリアマップについて】

保護者の皆様は既にご存じのことと思いますが、北栄町、ウトナイ北、ウトナイ南の3地区は津波避難エリアⅡに分類されています。ただ、**本校についてはウトナイ北に位置しますが、エリアⅡからは外れています**。そのため、大津波警報が発表されたときは、エリアⅡにいる方が本校に避難する可能性が非常に高いです。ちなみにウトナイ小学校や商業施設が集まる場所はエリアⅡです。

[苦小牧津波 HM_R4 マップ_15.ai](#)

[R5 津波エリアマップ一部修正.pdf](#)



訓練日に先立って9月2日（水）、給食でヒートレスカレーが提供されました。ヒートレスカレーは、学校で備蓄している食料品ですが、賞味期限が迫ってきたことから、新品と入れ替え、古くなった物は期限切れとなる前に食べて処理し、フードロスを防ぎます（ローリングストック）。また、自然災害が身近に起こりうることを再認識することも目的としています。普段の給食とは異なり、冷たい状態で食べましたが、水や火が使えないこと想定し、「**命をつなぐための食事**」を身をもって学ぶことができました。このような物資が苦小牧市によって用意されていることは大変ありがたいことです（**公助**）。※給食献立表から一部抜粋



インターンシップ ～高等学校のキャリア教育（自分の未来を創造する）～

9月8・9日（火・水）、苦小牧東高等学校から5名の卒業生がインターンシップで本校を訪れ、中学校教員の仕事を体験しました。私も1時間講話を行いました。その中でなぜ参加したのかをインターン生に尋ねると、将来の職業について、「人の役に立つ職業に就きたい」「人を支える仕事に憧れている」「まだ具体的な目標はないが今回の体験をきっかけにしたい」など様々でした。私からは、教員の仕事についてはネガティブな印象をもたれがちだが、体験先として学校を選んでくれたことに感謝していること、また、この体験が未来を創造する学びになることを期待していることを伝えました。

文化祭 ～輝跡～ 受け継がれ、そして新たな一歩へ

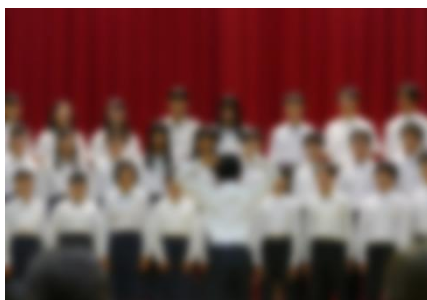
9月17・18日（木・金）、第8回文化祭を開催しました。リーダーを中心に自分たちで考え、話し合い、協力しながら活動を進め、時には思うようにいかないこともありましたが、どの学級も仲間と支え合いながら課題を乗り越え当日を迎えました。学級や文化部の展示作品、当日の合唱、演劇、スピーチなどどれも素晴らしく、一人一人が責任をもって役割を果たし、仲間と力を合わせた成果が表れました。この経験を今後の学校生活につなげ、さらに新たな「軌跡」を刻んでいくことを期待しています。

【合唱コンクール】 最優秀賞

1年1組「旅立ちの時」



2年1組「青葉の歌」



3年1組「糸」



【スピーチ（主張）発表】



【有志演劇】 「ハッピーライフ」

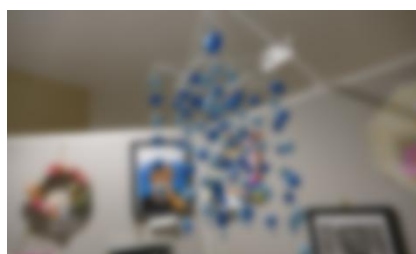


【有志発表】



【文化部展示・発表】

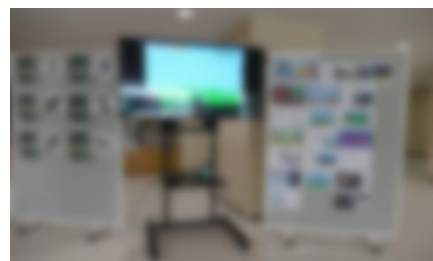
美術部



書道部



コンピュータ部



イグノーベル賞をご存じでしょうか？（ノーベル賞ではありません）

ノーベル賞は、スウェーデンの発明家ノーベルの遺言に基づいて、物理学、化学、生理学・医学、文学、経済学、平和の6分野で「人類に最大の貢献をもたらした研究（人）」に贈られる賞で、日本人も数多く受賞しています（令和7年度10月の学校だよりでも取り上げました）。

一方、イグノーベル賞はノーベル賞のパロディーとして「人々を笑わせ、考えさせた研究（人）」に贈られる賞です。こちらも多くの日本人が受賞しています。今回受賞した方は、北海道の旭川医科大学の海野 徳二さん（故人）で、研究内容は「鼻のかみ方の気体動力学的な研究」とのこと、端的に言うと、科学的に正しい「鼻のかみ方」です。鼻をかむという動作は我々の生活にとってはごくありふれた動作です。人によってはどうしても良いこととして片付けてしまうでしょう。しかしながら、そこにスポットを当て、**志をもって**研究し、**科学的根拠**に基づいて発表していたところが実に**面白い**ですし、**意味のあること**だと私は感じています。研究の結論としては「**片方ずつ、力強く、少し息を吸い、長く息を吐き出す**」と良いそうです。花粉症や鼻炎に困っている方にとっては、快適に生活するための有効な情報（＝**知恵**）です。

この研究に限らず、発見や発明に至るプロセスはすべて「なぜこうなるのだろうか？」「どのような仕組みになっているのだろうか？」「どうすれば解決できるのだろうか？」といった**興味**や**問い**からスタートしています。次期学習指導要領においてもそういった**学びの在り方、学ぶ意義**について強調されることになります。



校内教育支援センター（SR）について

不登校対策、教室復帰支援として運用してサポートルーム（SR）ですが、手狭になったため、下記のとおり場所を変更します。

- ・9/30 まで…「心の相談室」（1階）
- ・10/1 から…「自主学習室」（3階）

心の教室相談員、スクールカウンセラーによる相談業務は、これまでどおり「心の相談室」で行います。

交通安全について

生活道路（中央線、分離帯、速度に関する標識、標示がない）における法定速度が30km/hに引き下げられています。通学路を含め、歩行者や自転車に十分注意して走行しましょう。**自転車使用時も同様**です。



健康管理について

日中は暖かいものの、朝晩は気温が低く、体調を崩すことを心配しています。北海道でもインフルエンザの流行が早まっているとのことですので、体調管理、衛生管理に努めましょう。



SOSの出し方講座実施（1年）

9月16日（水）、スクールカウンセラーの田中さんによるSOSの出し方講座を実施しました。ストレスや緊張を和らげる方法や、本当に困ったときには、遠慮なく相談することについて分かりやすく丁寧に説明していただきました。



大会・コンクールの結果

○卓球部

<中体連全道大会>

男子シングルス 鳥山くん 内本くん 2回戦進出

<北海道卓球選手権大会（カデットの部）>

女子シングルス 中川さん 大朝さん 中野さん 2回戦進出 柴田さん 3回戦進出

男子シングルス 久保くん 山岡くん 小林くん 3回戦進出

○男子バスケットボール部

<中体連全道大会> ベスト16

<U15 苫小牧地区大会> 優勝 *道南ブロック予選に進出

○女子バスケットボール部

<U15 苫小牧地区大会> ベスト4

○女子ソフトテニス部

<苫小牧地区新人戦ソフトテニス選手権大会>

ダブルス 絹さん・熊野さん A級 第3位

○給食作文コンクール

最優秀賞 川村 燈哉さん

10月の主な行事予定

2日（金）生徒会役員選挙	15日（木）職場体験（2年）
7日（水）3年学力テスト（総合B）	19日（月）一斉委員会
13日（火）一斉委員会	20日（火）教育相談（～27日）
14日（水）職場体験（2年）	30日（金）学校公開日
ウポポイ校外学習（1年）	

発行者 苫小牧市立ウトナイ中学校 校長：山岸 弘昇 編集責任者：白鳥 博丈（教頭）
苫小牧市ウトナイ北2丁目5番1号 電話 (0144)57-6451 FAX (0144)57-6452